

No.832 March 2026

ASAHI MACHI



広報 あさひまち

あれだ！

2026
3

No.832



生涯学習推進大会 トークショー



子どもたちの野球教室



ASAHI TOWN Wears MIZUNO
元読売ジャイアンツ名内野手
野球解説者・野球評論家

篠塚和典さんが朝日町に!

午前中、野球に励む小中学生を対象に、篠塚さんがコーチを務める野球教室（ミズノビクトリニック）が上郷体育館で行われました。子どもたちはボールの投げ方や取り方、打ち方について指導を受け、一つひとつのフォームを確認。言われたことを意識しながら、真剣に取り組んでいました。

午後は、創遊館ホールを会場にトークショーが行われました。篠塚さんは選手としての思い出や競技の際に意識していたことなど、さまざまな切り口で現役時代の話を披露。会場には当時の姿をテレビで見ている方が多く訪れ、質問コーナーでも当時のエピソードについて尋ねられていました。

最後に「スポーツというのは体が覚えると簡単。覚えていないうちはしつこい」と思うくらい続けることを忘れないでほしいです」と子どもたちにエールを贈っていました。

町と総合的なまちづくりにおける連携協定を締結するミズノ株式会社との共同事業により2月22日、元読売ジャイアンツの名内野手・篠塚和典さんが朝日町を訪れました。当町の様子は町公式ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

※第38回朝日町生涯学習推進大会の様子は10・11ページに掲載

目次 CONTENTS

- P2 町長歳時記
- P3 Pick Up News
篠塚和典さんが朝日町に!
- P4 特集
乗って、未来へ。
- P10 町政スポット
・第38回朝日町生涯学習推進大会 各種表彰
・第3回りんごの郷みらい塾 ほか
- P14 まちレポ
・台湾旅行者がりんご掘り体験
・朝日町ふるさと歴史教室 ほか
- P16 町立小学校 子ども議会
- P20 我ら地域活性化起業人
管楽アンサンブルコンサート
- P21 それいけ協力隊とウサビ、町立図書館コーナー
- P22 健康あさひるばんざい、朝日町の神社と御堂
- P23 戸籍のまど、となりのリンゴさん
大谷地区でひなまつり
四ノ沢区の民生委員・児童委員が決定
お詫びと訂正
- P24 第26回 昔話きいてみんべのつどい

表紙の写真



町の自然や歴史、文化遺産や資源などの研究・普及に取り組むNPO法人朝日町エコミュージアム協会が主催する“朝日町エコミュージアムかるた大会”が2月11日、創遊館和室にて開催され、小学生13人が参加しました。1枚でも多く札を取ろうと、楽しみながらも真剣な表情で手を伸ばしていた子どもたち。最後は町内外の事業所から寄せられた賞品を受け取り、満面の笑みを浮かべていました。

町長歳時記 (227)

Here and Now

～あなたは今を生きている～

「心に深い傷を負った時、私たちはどう生きて行けばよいのか」

東日本大震災が発生してから今年で15年目になります。被災された多くの方々は、この15年の時の流れを、どのように見つめ、捉え、暮らして来られたのでしょうか。また同じ時を生きている私たちは、被災地への思いを純粋につなぎ留めて来ることができたのでしょうか。15年の年月が私たちに何を投げかけているのでしょうか。

心の痛みや傷跡は、長い時の流れの中で徐々に癒されて来るものだろうと、私も思っていました。

しかし人間の心の傷や痛みは、単純にそうなるものではないということも、精神科医であり福島県相馬市にある「メンタルクリニックなごみ」院長である蟻塚亮二先生のお話から知ることができました。

先生が福島に来る前、沖縄で勤めておられた時のこと。すでに終戦から何十年も経過しておりました。そこにご高齢の方々が、不眠症等を訴えられ、受診に来られたと言うのです。どの方も同じように、脳の潜在意識下の中に閉じ込められていた戦争時の辛い苦しい思いが突如現れ、眠ることもできなくなり、体調に異変を来してしまったというのです。これはPTSD（心的外傷後ストレス障害）の発症が原因であったと突き止められました。これらと全く同じことが、東日本大震災の被災地でも確認されているのです。

「人は絶望の淵に立たされたその瞬間にも生きていく限り希望を見出せる」これはホロコーストを生き延びたオーストリアの精神科医ヴィクトール・フランクルの思想の中心的なテーマです。また彼は「今生きていることに価値があるのだ」とも言っています。

「あなたは今を生きている」と「現在を一生懸命、肯定する」ことにより、「人には乗り越えていける力が、ある」と蟻塚先生は深い思いを込めて、力強く言っておられます。

朝日町長 鈴木浩孝

皆さんは最近、出かけるときにバスやタクシーなどの公共交通を利用しましたか。

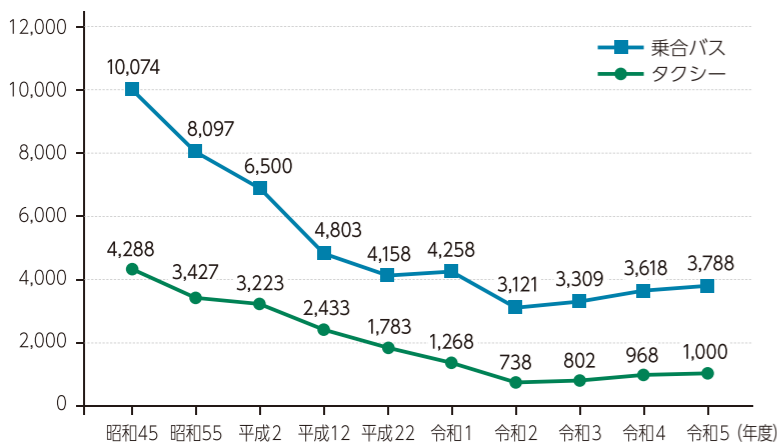
朝日町では、民間のバスやタクシーのほか、町で運行するデマンドタクシーなどがありますが、利用者は年々減少傾向にあります。運休や減便を余儀なくされ、“なくなるかもしれない”という不安を感じる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

生活に欠かせない公共交通を未来に残すため、私たちには何ができるのでしょうか。

町の公共交通の現状を見つめながら、公共交通の存続について考えてみませんか。

【問合せ先 政策推進課 ☎ 67-2112】

【乗合バス、タクシー利用者数の推移（単位：百万人）】



参考：公益社団法人日本バス協会“2025年度版 日本のバス事業”

余儀なくされる規模縮小
利用者数の減少やドライバー不足、維持費の高騰などにより、全国各地で公共交通の規模縮小が余儀なくされています。また、新型コロナウイルス感染症の影響から持ち直しつつあるも

戦後から増加し続け、昭和45年度にピークを迎えました。しかし、高度経済成長期を背景に自家用乗用車が全国的に普及し身近なものとなり、人口減少や感染症の流行などさまざまな社会情勢の変化も重なって、公共交通の利用者数は上記グラフのとおり全国的に減少。令和5年度のバス、タクシーの利用者数は、それぞれ昭和45年度時点の半分以下となっています。

それでも欠かせない公共交通
規模縮小が進む一方で、子どもたちの通学や免許を持たない方の移動手段として、各種公共交通は欠かせない存在。また、今は自分で運転できる方も、ふとしたときに必要となることがあるかもしれません。誰かのために、そしていつかの自分のために、まずは「ちょっとした場面で利用してみる」ことを意識してみましよう。次ページ以降では、町内で運行している公共交通を紹介し

の、コロナ禍前の水準には達しておらず、県内でもタクシー会社の廃業が相次いでいます。当町も例外ではなく、人口減少や運転免許所持率の増加などが重なり、デマンドタクシー事業者のうち1社も3月をもって廃業となります。

STEP 1

課題を知る 続く利用者減少と規模縮小

ピーク時から半分以下に

乗合バス、タクシー、電車……出かける際の足として、あつて当たり前前の公共交通。その利用者数は

最後はいつ、乗車しましたか。



特集

乗って、未来へ。 みんなの足を守るために

写真の紹介…

とある日の午前6時45分頃。朝日中学校前のバス停から、山形市へ向かう直行バスに乗り込んだのは専門学生の佐藤奏さん（小原）。佐藤さんは昨年4月からこのバスを利用しており、この日も授業を受けるために利用していました。

注目

デマンドタクシーの運転業務に
株式会社朝日町総合産業開発

4月から、株式会社朝日町総合産業開発もデマンドタクシー運転業務を担います。運転手はこれまでと変わりませんので、安心してご利用ください。

企業理念“チャレンジと創意工夫による地域への貢献”のもと、さまざまな事業に取り組んでまいります。

※デマンドタクシーはこれまでどおり4台で運行

- 有限会社朝日タクシー… 2台
- 株式会社朝日町総合産業開発… 2台



いつでも、だれでも利用できます
公共交通は病院や買い物などに行く際はもちろん、利用者同士でゆっくりと会話を楽しみたいときの利用も大歓迎。ちよっと外に出るだけでも気分転換になります。話したり歩いたり、健康づくりの場としても、ぜひご利用ください。
いろいろな場所に行けることがこの仕事の魅力ですが、利用した方に「ありがとう」「助かるちゃ」など言ってもらえることも大きなやりがいになっています。朝日町の皆さんから温かい言葉をかけていただきうれしく思っています。

約70年前、朝日町を拠点に開業
有限会社朝日タクシー
本社 …… ☎62-6088
朝日営業所 … ☎67-2424
車両が限られていますので、事前予約にご協力ください。

限られた台数で運行しているため、ご迷惑をおかけするかもしれません。皆さんの足として精一杯頑張りますので、タクシーをはじめ各種公共交通のご利用をよろしくお願ひします。

肌で感じる生活スタイルの変化
利用者が著しく減少したのは、やはり新型コロナウイルスが流行した頃ですね。流行が落ち着いた今、イベントや飲み会の規模は元に戻り、タクシー利用者数も回復してきましたが、それでもコロナ禍前の運行状況にはまだ追いついていません。
でも経費はかかるばかり…。
近年、売り上げはほぼ横ばいの状態が続いていますが、人口減少や生活スタイルの変化で利用者数は減少。一方で、燃料などの維持費は年々高くなっています。タクシー代行も保険料などの負担がかかるため、昨年からの受付を停止しました。
経営が厳しくなっているのは、タクシーに限らずバスも同様ではないでしょうか。

移動手段としてはもちろん、
交流の場としても利用してほしい

町デマンドタクシーなどを運行する有限会社朝日タクシーの柏倉恒明営業部長に、タクシーをはじめとする公共交通の運行に対する思いについて話をいただきました。



STEP 2
現状に向き合おう
町の公共交通の今

朝日町を走る公共交通を紹介

デマンドタクシー

既定の出発時刻前に予約することで、自宅・目的地に行くことができます。乗合のため時間は前後しますが、停留所で待つ必要はありません。

- 運行日** 平日
※予約受付は午前7時から午後5時まで
※12月31日から1月3日の間は運休

乗り方は次ページで紹介。
町公式ホームページにも掲載しています▶



タクシー

時間や乗降場所、ルートなどを利用者が自由に指定でき、公共交通の中で一番柔軟な対応が可能です。乗り降りが大変な方も運転手がサポートしますので、安心して利用できます。

募集

- 大江タクシー株式会社 ドライバー
電話 (62-2248) からお申し込みください。
- 有限会社朝日タクシー ドライバー
公式ホームページからお申し込みください▶



山形
寒河江 直行バス

山形市・朝日町間直行バス
運行日 山形市行き：平日1便・土曜日1便
朝日町行き：平日3便
※祝日・年末年始は運休

時刻表や料金などの詳細▶



寒河江市・朝日町間直行バス
運行日 平日 ※お盆・年末年始は運休

時刻表や料金などの詳細▶



山交バス

時刻表が決まっているので予定が立てやすいことが魅力。乗り換えなしで、朝日町役場⇄寒河江駅前・谷地間の移動が可能です。

運行日 平日(8月13日~16日、12月29日~1月3日を除く)
時刻表や料金などの詳細▶



募集

運転士ほか募集中
電話 (023-647-5171) または公式ホームページからお申し込みください▶



注目 乗って体感！
公共交通の4つのメリット

- **健康な体に**
バス停まで歩く機会が生まれるので運動量が増加。車で移動する場合に比べて健康づくりにつながります。
- **環境に優しい**
同じ人数を運ぶ場合、二酸化炭素の排出量は自家用車と比べ、バスは約3分の1に抑えられます。
- **社会性を学ぶ機会に**
「困っている人がいたら席を譲る」など、子どもが乗車マナーや社会性を学ぶ場になります。
- **事故のリスクが減る**
公共交通はいずれも運転手はその道の“プロ”。安心して利用できます。

ほかにもあるよ。
乗って探してみよう。



乗って守ろう、未来へつなごう。

「運転免許証を返納した」「子どもがバスで通学することになった」「けがをして運転できなくなった」……。普段公共交通を利用しない方も、いつか必要とすることが来るかもしれません。そうになったときに利用できるようにするには、今ある公共交通を持続可能な形で維持していく必要があります。

私たち町民の大切な足となる公共交通を守るためにできるのは、その現状と課題を知り、1回でも多く利用することです。

「子どもの社会科見学のためにバスに乗ってみよう」「酒席のときはタクシーを使う」など、公共交通を利用できる機会はさまざま。目的地や日時によって交通手段を使い分け、暮らしの中で積極的に利用することを意識してみましょう。

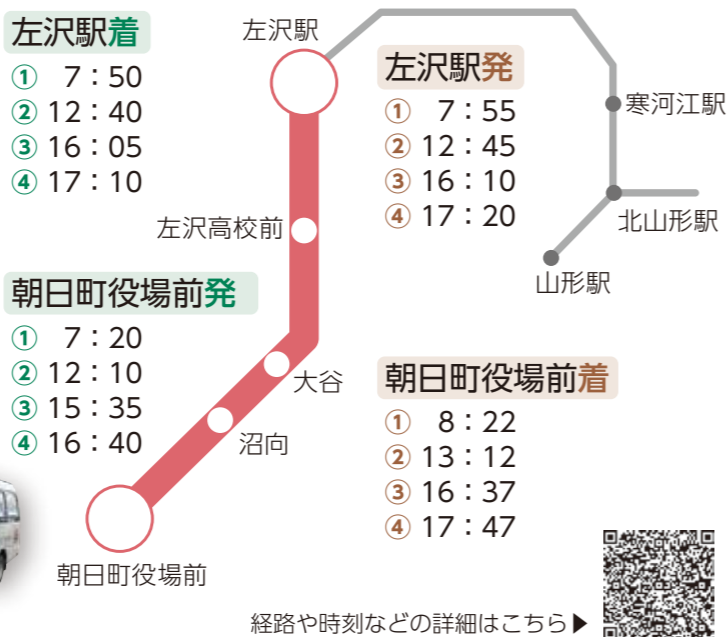
実証運行!

4月4日(土)～ 左沢駅間のバスがでます

寒河江・谷地方面に加え、山形方面への通学や一般利用、観光客の足の確保に向けて、4月から1年間、宮宿・左沢駅間のバスを実証運行します。運行実績を踏まえた上で、令和9年度以降の運行を検討します。

料金
高校生以上 …… 200円
小・中学生 …… 100円
小学生未満 …… 無料

このバスで
運行します。
ぜひ
ご利用ください!



経路や時刻などの詳細はこちら▶



デマンドタクシーに 乗ってみよう

デマンド予約センター

☎ 67-2173

はじめに

- 初めて利用するとき伝えること
 - ・初めての利用であること
 - ・名前 ・住所 ・電話番号
 - ・生年月日
- 予約するとき伝えること
 - ・乗車月日
 - ・何時の便に乗りたいか
 - ・目的地

時刻表

各地区 → 宮宿	順	宮宿 → 各地区
午前8時	1	午前8時45分
午前9時30分	2	午前11時
正午	3	午後1時
午後1時45分	4	午後2時30分
午後4時45分	5	午後4時10分

料金

75歳以上 …… 200円
高校生以上 …… 400円
小・中学生 …… 200円
小学生未満 …… 無料
※お得な回数券もあります

利用方法

1. 利用したい便の出発時刻30分前までに電話で予約する
2. 予約した時間・場所で乗る
3. 降りるときに料金を支払う

私たちが対応します!



デマンド予約センターオペレーター
長岡美樹さん(左) 阿部かおりさん(右)

STEP 3

課題解決に向けて考える
乗車が一番の応援

魅力を知り、乗って感じてみる
町民の足として運行している各種公共交通。目的地までの移動手段としてはもちろん、利用者同士やドライバーと気軽に話せるなど、交流の場としても魅力をもっており、町内におけるにぎわい創出の面でも欠かせない存在です。

同じ車両に乗った方との出会いや会話、普段通る道の景色をゆっくりと楽しめることも、公共交通ならではの魅力ではないでしょうか。ここでは、デマンドタクシーと朝日町・山形市間直行バスの具体的な乗り方などを紹介します。ご利用の際の参考にしてみてください。

例えば、こんな場面で乗れます

朝日町・山形市間直行バス、デマンドタクシーを利用する例を紹介

CASE 2

居酒屋で楽しく

【夕方】
18:10 自宅
↓ 自家用車
18:30 宮宿地内の居酒屋
↓ タクシー
21:00 自宅

【翌日】

8:00 自宅
↓ デマンドタクシー
8:30 駐車場

タクシーは
事前予約が
おすすめです。



CASE 1

東京に出かけよう

【行き】
6:42 朝日町役場前
↓ 朝日町・山形市間直行バス
7:35 山形駅西口
8:03 山形駅
↓ 山形新幹線
10:48 東京都

【帰り】
16:00 東京都
↓ 山形新幹線
18:43 山形駅
19:10 山形駅西口
↓ 朝日町・山形市間直行バス
20:11 朝日町役場前



町子どもの芸術文化活動表彰受賞者



町スポーツ協会表彰受賞者

■ 朝日町子どもの芸術文化活動表彰

氏名	学校	地区	主な成績	賞
羽柴 アイペリ	西五百川小5年	能 中	第31回山形県民ふれあいジュニア書道展	山形美術館長賞
海野 雫	西五百川小5年	西船渡	第31回山形県民ふれあいジュニア書道展	山形県民書道会賞
小川 竜輝	西五百川小6年	太郎第一	第31回山形県民ふれあいジュニア書道展	山形放送賞
松田 珠季	宮宿小1年	前田沢	令和7年度川をきれいにする児童絵画・ポスターコンテスト	銀賞
柴田 心詩	宮宿小2年	大滝	第67回山形県子ども絵画展覧会	奨励賞
高橋 晴	宮宿小5年	大町	令和7年度川をきれいにする児童絵画・ポスターコンテスト	銀賞
清野 花帆	宮宿小5年	前田沢	令和7年度川をきれいにする児童絵画・ポスターコンテスト	銅賞
阿部 初香	宮宿小5年	助ノ巻	令和7年度川をきれいにする児童絵画・ポスターコンテスト	銅賞
鈴木 結心	宮宿小6年	本町	第77回明るい選挙啓発ポスターコンクール	特選
齋藤 詩織	大谷小3年	大谷第四	第41回山形県児童生徒版画作品展	奨励賞
遠藤 悠人	大谷小3年	真中	第36回大ケヤキ全国書道絵画展	優秀賞
堀 瑠夏	大谷小3年	舟渡	第36回大ケヤキ全国書道絵画展	優秀賞
川村 絢都	大谷小4年	大谷第五	第60回歯・口の健康に関する図画ポスター標語コンクール	第3位
阿部 颯二郎	朝日中1年	松程	第31回山形県民ふれあいジュニア書道展	ふれあい書道展賞
鈴木 葵	朝日中1年	元町	第31回山形県民ふれあいジュニア書道展	山形県民書道会賞
阿部 栞奈	朝日中2年	助ノ巻	第41回山形県児童生徒版画作品展	奨励賞
長岡 希奈	朝日中2年	常盤	2025産経ジュニア書道コンクール 第31回山形県民ふれあいジュニア書道展	ジュニア賞 寒河江市長賞



■ 当日の様子

1. 町立図書館の古本プレゼント
2. 民謡・歌謡教室の歌唱披露
3. 着付け教室の帯締め発表
4. キッズダンス教室の発表
5. 茶道教室のお点前
6. 小中学生や文化教室の作品展

第38回朝日町生涯学習推進大会 各種表彰

■ 朝日町スポーツ協会表彰 殊勲賞

氏名	職業(学校)	地区	主な成績	順位
本間 秀真	農業	大谷第五	第96回都市対抗野球大会山形県大会	第1位
清野 凜華	東北学院大学3年	寒河江市	第51回東北女子学生剣道優勝大会 女子団体	第2位
本間 樹真	仙台大学2年	大谷第五	第96回都市対抗野球大会山形県大会	第1位
浅岡 莉愛	盛岡白百合学園高3年	宇津野	令和7年度東北高等学校剣道選手権大会 女子団体	第3位
長岡 翼	谷地高3年	大谷第四	令和7年度全国高等学校総合体育大会 カヌー競技 男子カヤックフォア 200m	第7位
安藤 望恵	山形学院高2年	西船渡	令和7年度山形県高等学校新人体育大会卓球競技 女子学校対抗	第2位
安藤 鈴暖	山形学院高2年	新宿	第76回山形県高等学校総合体育大会陸上競技 男子400m	第1位
岡崎 啓吾	山形工業高2年	西町	第79回国民スポーツ大会剣道競技 少年男子団体	第5位
岸 華帆	寒河江高2年	栗木沢	第44回全国高等学校弓道選抜大会 女子個人	第4位
佐藤 羽華	東北文教大学 山形城北高2年	新宿	第79回国民スポーツ大会兼第52回東北総合スポーツ大会 山形県予選会 剣道競技 少年女子団体	第1位
堀 直太郎	日本大学山形高2年	大谷第七	第72回山形県剣道大会 高校男子の部 男子団体	第1位
渡邊 日和	盛岡白百合学園高2年	大谷第五	令和7年度岩手県高等学校新人剣道大会 女子団体	第2位
小松 莉々姫	クラーク記念国際高1年	八ッ沼	第16回全国高等学校女子硬式野球ユース大会	第1位
堀 彪雅	山形中央高1年	元町	第77回藤井杯・高野杯山形県高等学校バスケットボール選手権大会	第1位

■ 朝日町スポーツ協会表彰 優秀賞

氏名	職業(学校)	地区	主な成績	順位
長岡 真生	会社員	太郎第二	第8回全国軟式野球大会ブランドスラム杯 2025 山形地区大会	第1位
佐藤 菜月	朝日中2年	沼向	2025YAMAGATA エージグループチャンピオンシップ水泳競技大会 女子200m背泳ぎ	第2位
白田 悠佳	西五百川小5年	松程	第44回山形県ジュニア体操競技選手権大会 タンプリング	第1位
	宮宿剣道スポーツ少年団 (鈴木 結心・岡崎 莉緒・八巻 昂)		第33回山形県民スポーツフェスティバル 山形県少年少女スポーツ交流大会 剣道競技 少年の部Dブロック	第1位

■ 朝日町スポーツ協会表彰 功労賞

氏名	地区	主な成績
佐藤 龍之介	宿	令和7年度全国高等学校総合体育大会カヌー競技大会および第79回国民スポーツ大会カヌー競技において優勝した選手を指導

※町スポーツ協会表彰規定「殊勲賞」「優秀賞」

- 【殊勲賞】①県大会で優勝、準優勝もしくは新記録を樹立した者 ②東北・全国大会で入賞もしくは新記録を樹立した者 ③日本代表として国際競技会に出場した者
- 【優秀賞】①殊勲賞に該当しない大会において優勝、準優勝した者 ②児童について東北、全国競技大会において入賞した者および県競技会において優勝、準優勝した者、もしくは新記録を樹立した者

寄付採納報告



内田真帆子取締役副社長執行役員（右）

2月6日、日東ベスト株式会社（嵯峨秀夫社長／寒河江市）より、まちづくり寄付金として金員10万円をいただきました。

これは、昨年11月3日に開催された日東ベスト文化祭でのチャリティーバザーによる売上金の一部です。いただいた寄付金は町振興発展のため、教育や観光などの分野で活用させていただきます。

高齢者サロンで移動町長室



町社会福祉協議会がりんご温泉で定期的に開き、参加者の介護予防に向けて軽い体操

や脳トレを行っている。なかよしサロン。2月25日、鈴木浩幸町長と町立病院の高橋潤院長が、サロン参加者の町や病院に対する意見・質問に答える移動町長室が行われました。これは、通常の各地区での移動町長室では拾いきれない意見を聞こうと、町集落支援員が企画し実現したもの。町長と院長は、デマンドタクシーや町立病院の診療などの質問に答えるとともに、参加者からの要望にも耳を傾けていました。

これからの農業経営を考える 第3回 りんごの郷みらい塾



※伐採予定または規模縮小予定の樹園地と新たな受け手を結びつける機会を創出する取り組み

営農知識の向上と農家同士の親睦を図ることを目的とする今年度3回目の「りんごの郷みらい塾」が2月13日に役場で開催され、生産者19人が参加しました。町における農業経営を、さまざまなテーマに沿って考えるこの講習会。今年度は、農業の経営継承をテーマに行われていました。参加者は県内および町内の樹園地マッチングの状況報告を受けた後、樹園地の継承事例について講話を聴きました。その後行われたワークショップでは、樹園地の出し手と受け手が抱える課題を共有するとともに、解決に向けた行動計画を考案し、経営継承への理解を深めていました。

交通安全推進に向けた活動に表彰 佐藤欣治さんに交通栄誉章緑十字金章



表彰状を手にする佐藤欣治さん（右）

佐藤欣治さん（四ノ沢）へ、一般財団法人全日本交通安全協会および警察庁より交通安全の分野で最高峰にあたる「交通栄誉章緑十字金章」が贈られました。県交通安全協会および県安全運転管理者協会に加入している佐藤さん。これまで、広報啓発や、代表取締役を務める大東建設株式会社の従業員に向けた交通安全教育など、交通安全の推進・交通事故防止に取り組んできました。このたびの表彰を受けて佐藤さんは「今後も交通死亡事故ゼロに向けて広域的に活動していきたい。町民の皆さんにもぜひ県交通安全協会に加入していただき、共に事故のない地域をつくってきたい」と語りました。

JICA 海外協力隊 アフリカ滞在記

令和6年11月25日からボツワナ共和国に海外協力隊*として派遣中の菅井嘉代さん（元朝日中学校特別支援学級教職員／小原区）が、現地での生活などを語ります。

*独立行政法人国際協力機構「JICA」による取り組み。

このほかの活動記録はこちら▲



第5回 朝日中学生から織り機をいただきました

ドュメラン！（現地語でこんにちは）今回は、朝日中学生から「織り機」が届いたうれしい報告です。

2月17日、7台の織り機が、ボツワナ共和国モレポロレ村のボネワマン小学校の特別支援学級に届きました。スポーツ用品や文具を海外の子どもたちに届けるJICAの「『世界の笑顔のために』プログラム」を使って中学生の皆さんから贈っていただいたものです。

織り機が届くと、地元のPTAや役員職員など来賓を招いての贈呈式が行われました。織り機はJICA職員がプログラムの趣旨を説明した後、子どもたちに手渡されました。

次の日には早速、エコたわしやテーブルクロスづくりに挑戦。教室には昨年、私宛に個人的に寄贈された織り機が1台あり、「トントン」と名付けられています。今回いただいた織り機は、それよりも少し小さいので、「ミニトントン」と名付けられました。1つのクラスに20人近くの生徒がいるので、7台を交代しながら使っています。愛のこもった「ミニトントン」をこれからも大切に、活用していきます。

本当にありがとうございます！



▲贈呈式の様子



織り機でエコたわしづくりに挑戦▶

人がつながり、町が近づくひととき 朝日町とつながる夜 in TOKYO

町外に住みながら朝日町に関心を持ち、継続的に関わる「関係人口」の創出に向けたイベント「朝日町とつながる夜 in TOKYO」が、東京都大手町で開催されました。町と株式会社朝日町総合産業開発が主催したこのイベントには、町出身者や桃色ウサビのファンなど96人が参加しました。



第一部では町関係者が町の取り組みや、ふるさと納税などを紹介。第二部では、町のふるさと納税返礼品の食材を使った料理や町産ワインなどを味わいながら、町関係者と参加者が朝日町について語り合う交流会が行われました。参加者は「朝日町の今を知ることができて良かった。特産のりんごも食べてみたいのでふるさと納税をしてみたい」と町に関心を寄せていました。参加者全員で記念撮影▶



2/18 朝日町で働くことを考える
朝日中1年生 職業講話

朝日中学校1年生の総合的な学習の時間に、町内で働く人の職業講話が行われました。
今回講話を行ったのは株式会社朝日町総合産業開発で働く古川哲兵さん（立木）と、町のふるさと納税業務などを担う地域活性化起業人の伊藤理花さん。2人は自身の業務内容や仕事への思いなどを生徒に伝えました。生徒は「自分が働く姿はまだイメージできず難しかったが、事業所の仕事を初めて具体的に知ることができた」と振り返っていました。



3/1 朝日連峰の大パノラマを見に行こう
春の雪山トレッキング

雪化粧をまとった朝日連峰を見に行く“春の雪山トレッキング”が開催され、8人が参加しました。
一行は午前9時にAsahi自然観を出発。しっかりと締まった雪の上を歩き、ブナ林を抜けて午前11時頃に絶景スポット“サイツチ峰”に到着しました。例年より気温が高い日が続きやや少雪ではあったものの、この日は天候にも恵まれ一面にくっきりと広がる朝日連峰の大パノラマを満喫していました。



2/27 暮らしの中にある
地域の宝もの発表会

創遊館ホールで開催された“暮らしの中にある地域の宝もの発表会”に約80人が集まり、町内外の日常的な助け合い・支え合いに関する活動事例が紹介されました。
町内の事例紹介では、みんなの居場所すぽっとで麻雀を行う“健康マージャン”、大谷第五区公民館でカラオケを楽しむ“歌声喫茶館”、ソフトボールを行う“ベアーズ”の皆さんが登壇。自分たちの活動とともに、地域の交流の楽しさや魅力を参加者に伝えていました。



3/3 心と体の健康をつくる“ほっとカフェ”
笑って健康！ラフターヨガ教室

認知症の理解と交流を目的に、講話や体操などを行う認知症カフェ“ほっとカフェ”が開催されました。
今回行われたのは、笑うこととヨガの呼吸法を組み合わせた健康体操“ラフター（笑い）ヨガ”。23人の参加者は、講師の柴田智子さん（西町）と共に笑うことを意識しながら全身を使ったエクササイズを行い、体をほぐしていました。
ほっとカフェの開催はお知らせ板で案内しています。どなたでも参加できますので、ぜひご参加ください。



2/5 特別な体験を朝日町で
台湾旅行者がりんご掘り体験

台湾からの旅行者23人が“アーモンドの森”（沼向）を訪れ、雪の中に埋められたりんごの掘り出しを行いました。
この体験は、町産りんごをより広く知ってもらうため、株式会社朝日町総合産業開発が旅行客向けに販売したものの。旅行者は普段見られない雪景色と真っ赤なりんごを写真に収めながら、「朝日町のりんごは以前食べたことがあり、甘くておいしかった。雪で手が冷え切ったが、初めての経験で面白かった」と笑顔を浮かべていました。



2/12 のぞいてみよう江戸時代の朝日町
朝日町ふるさと歴史教室

朝日町郷土史研究会の齋藤隆さんを講師に“朝日町ふるさと歴史教室”が創遊館で開催されました。
町の歴史を学ぶこの教室は今年、江戸時代にスポットを当て、1月から6回に分けて行われています。4回目となるこの日は、山形藩成立の経緯や最上義光（出羽山形藩の初代藩主）一族の出来事、山形藩が成立する頃の朝日町と最上一族の関係などについて解説されました。参加者は普段聞くことのない地元の歴史に関心を高めていました。



2/14 みんなで食べて、みんな楽しむ
“そばがき”を食べよう

大沼区民同士の交流を図るイベントが同区公民館を会場に開催されました。
この行事は寒さが続き家に籠りがちなこの時期に毎年開催されており、参加者はさまざまな料理を味わいながら交流を深めています。今年は、そばがき（そば粉に水や熱湯を加えて練り上げたもの。そば本来の強い香りと餅のような食感が特徴）を自分たちで作り、ごまや納豆を加えて味わいながら世間話に花を咲かせていました。



2/15 交流づくりに向けて初開催
常盤区で麻雀大会

常盤区民の交流を目的とする麻雀大会が常盤公民館で開催され16人が参加しました。
公民館や同区にある松本亭一農舎などで日頃から麻雀を楽しんでいる参加者の皆さん。当日は真剣な表情で牌を見つめながらも日常の会話を楽しんでいました。
近年、住民同士の交流や健康づくりを目的に、町内各地で麻雀が行われています。みんなの居場所すぽっとでも定期開催されていますので、足を運んでみてはいかがでしょうか。



● 日にち …… 2月18日 水

● 会場 …… 町議場

● 出席者数 …… 町内3小学校の5・6年生 46人

町立小学校 子ども議会



聞いてほしい、かなえてほしい。
わたしたちが考える、より良い朝日町

子どもたちの感想



西五百川小6年 小川 竜輝

困っていた学校の水の味やお店のことについて、その対策や現在の計画について知ることができてよかったです。これからも朝日町がより良くなるためにできることを考えていきたいです。



宮宿小6年 鈴木 結心

子ども議会に向けた調べ学習で、空き家の多さを知りびっくりしました。空き家の再利用やお店の建設など大変さも知ることができてよかったです。朝日自然観に遊ぶ場所も作っていただけたらいいなと思いました。



大谷小6年 和南城 愛生

北部地区の中だけではなく、朝日町でも地域の人たちのつながりをつくるために、さまざまなことをしていることを知りました。これからも地域の人やお年寄りにやさしいまちづくりを頑張ってください。

子どもたちが、町政に対する自分たちの考えを町に直接伝える「子ども議会」が町議場で開催されました。当日は町議会で行われる一般質問と同様の形式で進行。西五百川小、大谷小の5・6年生と宮宿小の6年生が出席し、鈴木浩幸町長へ質問や提案を投げかけました。

この日に向けて児童は、総合的な学習の時間を使い、自分たちで決めたテーマに沿って、調べ学習や聞き取りなどを進めてきました。

緊張した面持ちで真剣に臨んでいた児童の皆さん。細谷秀明副議長は「町が抱える課題について資料を作

り、課題解決に向けた自分の思いやアイデアを示してくれた。いただいた貴重な意見を受け、より良いまちづくりを進めていかなければならぬ」と強く感じた」と講評しました。

● **各小学校の表題**（詳細は18・19ページ）

- 西五百川小学校
あさひ未来学園の水道水について 西部地区住民の買い物対策について
- 宮宿小学校
「住んでみたい」と思える町とは
- 大谷小学校
地域のつながりづくりに向けた取り組みについて



大谷小学校



(左から) 白田 真悠、川村 芽希、佐藤 直生

Q 私たちは、総合的な学習の時間に“HOPEひろば”という、地域のつながりをつくる活動をしてきました。地域のつながりづくりは、町全体でも重要な課題になってくると考えます。地域のつながりをつくるためにどのような取り組みを考えているか教えてください。

A 町では、地区あるいはさらに小さな単位でのつながりづくりを進め、地区のにぎわいにつなげていく取り組みを応援しています。また現在、町では12人の地域おこし協力隊が活動しており、各地区でレクリエーションの開催などを通じて、つながりやにぎわいづくりにつなげています。これからも協力隊の受け入れを続けるほか、地区内でのお店の創業支援や、各地区に人が集まる機会づくりへの支援などに、引き続き取り組んでいきたいと考えております。

※ HOPEひろばとは？

大谷小学校5・6年生が行った、地域のつながりを創るための活動。“HOPE”は、H…ハッピー、O…おおや、P…パワー、E…笑顔の頭文字をとっており、「笑顔のパワーで大谷をハッピーにし、大谷の希望をつくりたい」という願いが込められています。活動は秋葉山交遊館で“ものづくり”“スポーツ”“ゲーム”の3チームに分かれて計4回開催され、地区民を含む延べ84人が参加しました。本紙令和7年12月号裏表紙でも、活動の様子を紹介していますのでぜひご覧ください。



開催の様子 (昨年11月18日)

宮宿小学校



(左から) 白田 隼理、鈴木 佐知、鈴木 直暉

Q 私たちは、町民が「住み続けたい」町になるためには、今あるものを生かしながら人のつながりを感じ、安心して暮らせることが大切だと考えます。「朝日町に住んでみたい」と思えるような町は、どのような町だとお考えでしょうか。

A 1つ目の要因は産業の振興です。特にりんごの振興や交流人口の拡大は不可欠であり、町の観光施設(道の駅あさひまち「りんごの森」・Asahi自然観・りんご温泉)がその核になるものと考えています。2つ目は安心して暮らせる生活環境です。山形直行バスやデマンドタクシーなど、町民の移動手段の確保が重要です。また、環境問題への取り組みも大切です。3つ目は人のつながりです。幅広い世代が一緒に楽しく活動できるコミュニティを大切に、他地域に住む人たちとのつながりをさらに深める必要があります。要因はほかにもさまざまあります。町民が楽しく明るく暮らす姿を町外の人知ること町の魅力が伝わり、“引力のあるまち”になっていくと思います。

提案

朝日町がより住みやすく、つながりのある町になるために2つ提案します。

1つ目は、空き家を飲食店や民宿など、人が集まりにぎわう場として活用することです。飲食店では、朝日町のりんごやワインなどを使い、町内外の方々が楽しく集まることが出来ます。民宿は、朝日町と交流のある台湾など、海外の方や県内外の方が泊まれるようになれば良いと考えています。

2つ目は、Asahi自然観に子どもたちがソリやスキーを楽しめるスペースを作ることです。その場所を使って、子どもたちが朝日町の自然を楽しめるようになるからです。

西五百川小学校



(左から) 羽柴 アイペリ、海野 凜、佐竹 結芽

Q 私たちは、西部地区に食品や日用品などを買うお店がないことに不便さを感じています。西部地区に暮らす人たちが買い物をしやすくするための対策はしているのでしょうか。また、現時点で空き家は何戸あるのでしょうか。

A 現在、町内には移動販売や宅配サービスを行っている事業者があります。このほか、開業や移動販売を始めたい方が事業を始めやすいよう、補助制度(創業支援補助金など)を設けています。「西部地区でお店を開きたい」という人が多く現れるよう、この制度を広く周知していきます。また、町内の空き家は、令和3年度時点で265戸(西部:89戸/北部:61戸/中部:115戸)ありました。

提案

買い物と空き家問題の両方を解決できる方法として、空き家を活用したお店を提案します。

企業と連携し、空き家を活用してお店を開くのはどうでしょうか。空き家を活用することで、倒壊の心配が減るだけでなく、近くに住む人たちがより便利に暮らせるようになると考えました。

みんなが住みやすい朝日町になるためにも、西部地区にもそのようなお店があればいいと思います。



(左から) 阿部 美晃、長岡 希海、樋口 瑠月

Q 私たちは、学校の水道水がおいしくなくて困っています。また、全校生にアンケートを取ったところ、81%の人が「おいしくない」と答えました。あさひ未来学園では、水道に関する事で何か考えていることはあるのでしょうか。

A あさひ未来学園の建設については、現在、大まかな設計書を作成している段階です。学校に必要な各教室や体育館、給食室などの配置について、町民の皆さんや学校の先生方、調理師、用務員の方々に聞き取りを行い、何度も修正を重ねながら学びやすい校舎になるよう検討しています。あさひ未来学園の水道についても、いつでもおいしい水が飲める学校になるよう進めていきたいと考えています。

提案

あさひ未来学園に、夏の猛暑のときや水筒の水がなくなったときに水を入れられるよう、冷水器の設置を提案します。

設置することで、いつでも冷たい水をすぐに利用でき、水筒にも安心して水を入れることができるため、安全に過ごせるようになると考えました。あさひ未来学園が、だれもが安心して過ごせる学校になってほしいと思っています。

子どもたちの疑問とアイデア



当日の様子はこちらからご覧ください(録画中継) ▶





朝日町に来て間もなく3年時間の経つ早さを痛感しています。

協力隊のミッションである「にぎわい創出」として3年間、松本亭一農舎とその周辺で活動を続けてまいりました。1年目の春に、松本亭のある常盤区のごも祭りのお神輿を担がせてもらったことがありました。その時に快く受け入れてくださったことで「朝日町に来て良かった」と感じたことを今も鮮明に覚えています。その後も、町内のマルシェやお祭りなどにも参加させていただき、朝日町のにぎわいを体験する1年目だったと思います。



町地域おこし協力隊と桃色ウサビの「中の人」こと、佐藤恒平情報交流総合アドバイザーによる連載コーナー。日々の活動や朝日町での暮らしを語ります。



「朝日町のにぎわいの中で」

にぎわい創出推進員（地域おこし協力隊）今野 颯（秋田県出身）

3月20日（金・祝）、秋葉山交遊館にて地域おこし協力隊活動報告会を開催します。ぜひご来場ください。詳細はこちら▶



2年目からは木工のお仕事をいただくことが少しずつ増え、朝日町周辺で採れた西山杉の活用推進事業のお手伝いもさせていただきました。木材に触れ、匂いを感じ、思い出を形に残すことの楽しさを、これからも発信できるように今後活動していきます。また、西山杉の額縁を作らせていただき、町制施行70周年の式典の際に使用していただきました。

3年目からは、前述の西山杉の事業の講師として小学校で指導もさせていただきました。さらに、2年目の経験を生かし、今は個人で木工体験の講師として活動していきます。また、松本亭や常盤公民館にて、健康麻雀会を開いています。世間話などをしながら、ご年配の方から中学生まで幅広い世代が集まり、交流する場となりました。

任期終了後も朝日町に住みながら、松本亭でのイベント企画などの活動を続けていきます。3年間朝日町で活動させていただき、本当にありがとうございました。来年度からもよろしく願います！



町で活動する県外の民間人材が、自身の活動や町民の皆さんへの呼びかけなどを掲載します。

あさひまちサポーターに なりませんか？



【今月の担当】株式会社 GLOCAL 伊藤 健介

昨年11月より、町外における関係人口づくりや町内施設の活用を目的に、LINE公式アカウント「あさひまちサポーター」を開設しました。

お友達追加後に会員登録をしていただくと、Asahi自然観・りんご温泉・道の駅あさひまち「りんごの森」で利用できるお得なクーポン券がもらえるほか、町内外で開催される朝日町関連のイベント情報を受け取ることができます。

また、町内各所に設けられたチェックインポイントの利用回数に応じて会員登録のランクが上がり、ランクアップに合わせ



てクーポン券の割引率もさらにお得になっていく仕組みです。

今年2月の「スキー場まつり」や、東京で行われた交流イベント「朝日町とつながる夜」での宣伝活動を通じ、多くの方々にご登録いただいています。

左記二次元コードから簡単にお友達追加が可能です。町内にお住まいの方はもちろん、町外のご家族やご友人にもぜひご紹介いただき、みんなであさひまちサポーターになってみませんか。

登録はこちらから▶



4人の大学生が深みのある音色を披露 管楽アンサンブルコンサート



演奏を披露した皆さん

全日本吹奏楽コンクールに3年連続で出場している立命館大学（京都府）の元応援団吹奏楽部員4人による管楽アンサンブルコンサートが3月1日、創遊館ホールで開催されました。

町民からの発案に地域おこし協力隊の間地謙太隊員が協力し、有志で組織された実行委員会が主催したこの取り組み。現在進められている中学校部活動の地域展開を見据え、地域でスポーツ・芸術文化活動などを楽しむクラブ活動の設立・推進を目的に開催されたものです。

コンサートでは、山形県民の歌「最上川」をはじめ、来場者にとってなじみのある楽曲を披露。約100人の来場者をエネルギーあふれる音色で魅了しました。県内出身で町内に所縁のある阿部桃華さんは「応援しているよ」と声をかけてくれる町民の皆さんに演奏を聴いてもらえて良かったです」と笑顔で話していました。

町立図書館新刊案内

「悪女たちのレトリック」

秋吉理香子 著

ハーバーコリンス・ジャパン
不気味なストーリーカーに目をつけられた彼女は、遠距離恋愛中の恋人と再会する。その日からなにもかもが思わぬほうへ転び始め…。「見つめていたい」など、毒とスパイスが効いた6篇を収録。

「昭和レトロ」

地球の歩き方編集部 編集

Gakkenn
昭和の空気を色濃く残す街並みや観光地、当時の暮らしを体感できる博物館、乗り物、おもちゃ、駄菓子、レトロ喫茶、情緒ただよぶ遊園地や商店街などのスポットを紹介。

「みえないおじいちゃん」

とくながけい 作・絵

中央公論新社

信号機、蛇口、腕時計…。身近で見慣れたあれこれが、中をのぞいてびっくり！今日もお仕事をがんばっている人がいて…。ページをめくる楽しみと新たな視点を与えてくれる絵本。仕事人たちの日常を描いた4コママンガ付き。

「その他の新刊」

- ▼光と糸／ハン・ガン
- ▼とるわ／又吉直樹
- ▼分水／今野敏
- ▼あの冬の流星／朝倉宏景
- ▼大河の一滴最終章／五木寛之
- ▼教場Q 刑事・風間公親―長岡弘樹
- ▼青天／若林正恭
- ▼憤怒の人―母・佐藤愛子のカケラ
- ▼山響子
- ▼グレタ・ニンブ
- ▼綿矢りさ
- ▼シニアモラクラ
- ▼クオアム・セクス・カント・ノ・ムニ
- ▼ChatGPT使いこなし超入門／茂木健一郎
- ▼3・11復興ふるさとへの記憶を遺す希望の文化財／山田菜の花
- ▼人生がちよっとよくなる読書術／斉藤洋
- ▼人生がちよっとよくなる文章術／斉藤洋
- ▼神の蝶、舞う果て／上橋菜穂子
- ▼小断十二か月／川端誠
- ▼おとととと／柿木原政広
- ▼ちいさなショベルカーベルン／早川純子
- ▼ねこいる！
- ▼えっさほいさ／たなかひかる
- ▼めだまのスポット／ふたり
- ▼さんぽー／田中達也



【ブックテマコーナー】
山形出身の先生
荒井良二さん

戸籍のまど

Asahi town

2月1日～2月28日届出



Obituaries やすらかに

区名	死亡者氏名	世帯主名
八ツ沼	佐竹 しげ	和 広
栗木沢	齋藤 章江	正 和
宿	後藤 治三郎	よし子
松程	鈴木 ハナ	榮
大谷第五	川村 オヨシ	敬 一
大町	安藤 光雄	光 弘

掲載を希望しない場合は
届け出の際にお申し付けください

Population 人口と世帯数

●令和8年 2月28日 現在 ※()内は先月比

人口	5,604 人 (- 5)
男	2,810 人 (+ 1)
女	2,794 人 (- 6)
世帯数	2,269 世帯 (± 0)

----- 2月中の異動 -----

出生	0 人	転入	6 人
死亡	6 人	転出	5 人

(※外国人を含む)

四ノ沢区の民生委員・児童委員が決定

1月27日、四ノ沢区の民生委員・児童委員に渡邊浜子さんが委嘱されました。

各地区の民生委員・児童委員については本紙令和7年12月号(右二次コード)をご覧ください。



お詫びと訂正

本紙令和8年2月号の12・13頁「各種スポーツ大会・文化コンクール等の入賞結果」内に、以下のとおり誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

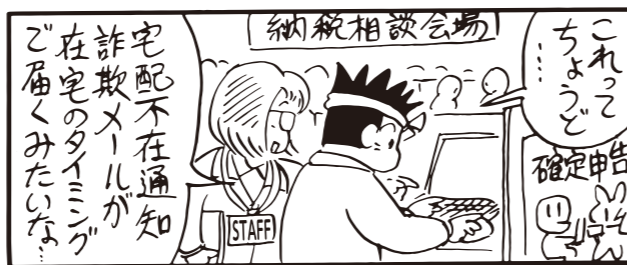
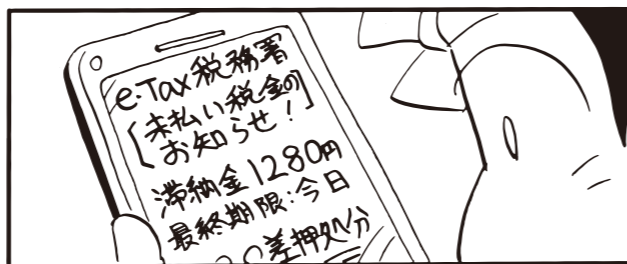
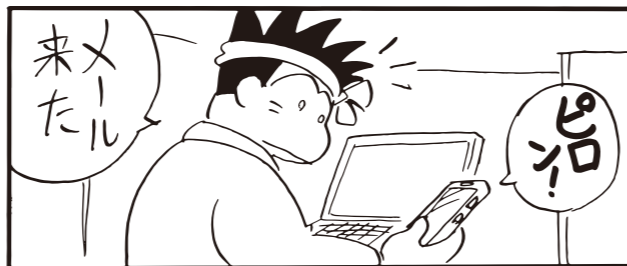
【誤】山形県中学校クラブ代表選考会(ソフトテニス) 第3位 男子シングルス2年 堀 上総

【正】西村山地区中学校新人体育大会(ソフトテニス) 第3位 男子ダブルス2年 堀 上総

【誤】西五百川小4年 鈴木 穂

【正】宮宿小4年 鈴木 穂

こないのリンゴさん ホリイ (378)



3月は自殺対策強化月間です 若者の自殺予防

【令和7年度 第11回】
今月の担当…佐竹 律 子ども家庭センター統括支援員

あなたは身近で悩んでいる子どもがいたら、自分から温かく声をかけてみましょう。悩んでいる様子に目を向け、心配している気

3月は、進学や就職など環境の変化が多く、こころの状態が不安定になりやすい時期です。全国の児童生徒の自殺者状況を見ると、令和7年は532人と過去最多を更新しており、自殺対策は喫緊の課題となっています。

悩みを抱えている人は、さまざまに不安や心配から、ひとりで悩みを抱え込んでしまうことがあります。悩みをどこに相談すればよいか分からない、否定されたり拒まれるのではないかと、話しても自分の気持ちを理解してもらえないのではと、不安な状況に追い込まれることもあります。

ひとりで悩みを抱える人は、孤独感や孤立感、絶望感を感じます。周りにいる私たちは、その変化に気づき声をかけることがとても大切です。

- ▼健康福祉課 子ども家庭センター ☎84-7755
- 落ち込み、不安
 - 何をしても面白くない
 - 頭痛、腹痛、食欲不振など体調不良がある
 - 物事に集中できない、物忘れが多い
 - イライラ、喧嘩、不機嫌、無口になる
 - 状況判断ができない
 - 何かに対して過敏、恐怖
 - よく眠れない
- 主な気づきのポイント
- 元気がない、普段と様子が違う



大谷地区でひなまつり

3月3日、往来館でひなまつりが開催され、大谷小学校の児童約20人が参加しました。地域おこし協力隊の石井沙織さんが企画したこのイベント。子どもたちは、石井さんとスタッフの地区住民が作った巻き寿司をおいしそうに頬張りながら、飾られたひな人形を眺めて楽しんでいました。

第34回 太子堂 (元町)

【所在地】県道宮宿・浮島線の船橋商店さんの所の交差点から北に入り、西原に向かう町道、元町の交差点の手前東側の路地裏にある

太子堂は聖徳太子を祀った御堂で、創建は江戸時代の初期とされます。もとは現在地ではなく清水という所にあつて、間口四間半、奥行五間の大きな建物だったと伝えられています。一説によると宝永年間(1704～1711)に大谷の白山神社改築の際、社殿を譲り受けたとされていますが、確証はありません。

明治20年頃に現在地に移転し、先に当地に祀られていた稻荷様と共に合祀されています。さらに、明治35年(1902)に御堂を改築して、現在のような小規模なものとなりました。御神体の聖徳太子像は、首のない石像、古い木像、新しい木像が残されており、地域の人々が長年信仰してきたことが伺えます。

うさぎのゆるっと解説

聖徳太子が祀られているのは、太子が観音菩薩の化身として尊ばれていることや、法隆寺などの建築に関わっていることから、建築や木工の守り神として崇拝されていることによるのだよ。



第26回 昔話きいてみんなのつどい



3月8日、創遊館2階の和室で語りの会つむぎ（鈴木正子代表／大暮山）が主催する“昔話きいてみんなのつどい”が開催されました。

毎年開催されるこのイベントでは、つむぎの皆さんが方言で昔話や民話劇を披露。客席との距離が近く、民話劇では来場者に話しかける場面もあり、幅広い世代を夢中にさせています。

今回は、貧乏な老夫婦の飼い犬と飼い猫が老夫婦のために宝物を探す民話劇“犬と猫の恩がえす”のほか、八ツ沼区にまつわる言い伝えが元となっている“黄金沼”^{こがねぬま}など、3話の昔話が披露されました。訪れた約75人の来場者は、臨場感あふれる演出に時折笑い声を上げながら楽しんでいました。

シーでなければ移動できない場面もさまざまあります。あらゆる物事と同じように、維持するには費用がかかります。その費用を賄うには収入が必要であり、公共交通ではその収入源が乗車賃なのです。今後起こりうる“もしも”のときにも利用できるよう、旅行や飲み会など使える機会を見つけながら、意識して利用していかうと改めて感じた今号でした。

岡崎 陽果

春夏秋冬 編集後記

欠かせないものを
これからも身近に

今回の特集では、町の公共交通の現状を深堀りしました。1ページの“最後はいつ、乗車しましたか”は、自分自身に向けた問いかけでもありました。社会人になってからは車での移動が中心となり、正直、ほとんど乗れていなかったなと反省しています。バスやタクシーを利用できる機会は意外と多いものです。そして、けがをして運転ができなくなった“お酒を飲んだ”など、バスやタク

